

ナヲの子ども時代

たでぬま 蓼沼ナヲは、めいじ 明治4年(1871) かんがくしゃ 漢学者(※9) そうりよで僧侶の父

さとういちたろう佐藤市太郎と母マサヲの長女として やまがたけん山形県に生まれま
した。

ナヲは子どもの頃ころから絵かを描くのが上手で、父は将来しょうらい、
ナヲを絵描きかにしたいと考え、16才の時に仙台せんだいの井上東いのうえとう
仙せんという画家の所へ連れて行き、3年間絵の勉強をしまし
た。

いのうえ井上先生は画家として、日本画・洋画と全てのジャンル
で絵かを描くことができました。そのため、日本画から油絵
の西洋画まで全て習うことができました。

※9 かんがくしゃ 漢学者
でんらい 中国伝来の学問を研究する人

めいじ 21 年(1888)に^{よこはま}横浜に出て油絵を始め、^{あしかが}足利(※10)に
帰っていた画家の^{たざきそううん}田崎草雲(※11)に教えてもらおうと、家
族で^{とちぎけん}栃木県の^{さの}佐野(※12)に^{うつ}移り住みました。



油絵の勉強を
始めるMO~!

※10 ^{あしかが}足利

^{げんざい}現在の^{とちぎけんあしかがし}栃木県足利市

※11 ^{たざきそううん}田崎草雲

^{えど}江戸から^{めいじ}明治にかけて^{かつやく}活躍した^{なんそう}中国の南宋画家

※12 ^{さの}佐野

^{げんざい}現在の^{とちぎけんさのし}栃木県佐野市